

## 「サンゴの海の生き物たち」

レオ＝レオニー さん

サンゴの海には たくさんのおきものたちがすんでいます。

それの中には たがいに やくにむくひつつかかかわり合っていて くらべているものがあります。

どんな生きものたちが どんなかわり合いをしているのしょうか。海の中をのぞいてみましょう。

大きなインギンチャクがいますね。細長いたくさんのおしょく手をゆらゆらさせています。そのおしょく手の間に きれいなオレンジ色の魚がつかんでいます。クマノミです。

インギンチャクのおしょく手には どのほりがあります。インギンチャクは じつは 小さなおびんごしをかまえて 食べているのです。クマノミも ちえねるとたいへんなことになります。でも ちえねることはありません。クマノミの体は ねばねばしたえきでおおわれています。じつは ちえねないひみつです。

クマノミを食べる大きな魚は インギンチャクをこわがって 近づいてきません。だから インギンチャクの中にいれば クマノミはあぜんです。

インギンチャクを食べにくる小さな魚がいます。クマノミはこの魚が近づいてくると カチカチと音を立てて おどはらしてしまいます。じつは インギンチャクとクマノミは たがいにまもり合っているのです。

サンゴの海には うつくしい魚がたくさんいます。ホンソメフケベラも その一つです。明るい青色の体に 頭からしっぽにかけて黒いすじが一本あります。体の長さは十二センチメートルほどです。

この小さい魚が 大きな魚の口の中に入っていくのを見ると びっくりしてしまいます。でも 食べられることはありません。大きな魚たちは 体や口の中に入った虫を ホンソメフケベラがじつは きれいにそじいで 食べてくれるのを知っているからです。

ホンソメフケベラは そじい魚とよばれています。でも ただ そじいをしてこのおびんごしにはありません。ホンソメフケベラじつは そじいをしてじつは 食べた物になるのです。

このおびんごしは サンゴのしっぽの海では たくさんのおきものたちが ちえねるおびんごしをひらいて食べています。